

安全運転はみんなの願い！ 春の全国交通安全運動



中学校生徒によるシートベルト着用の呼びかけ

春の全国交通安全運動が4月6日から15日までの10日間行われ、本町においても様々な交通安全運動が行われました。

初日の6日には、500人街頭立哨も実施されました。これは、交通安全推進機関だけでなく、広く町民のみなさんにも参加していただき、交通安全に対する意識の高揚につながることを目的に実施され、通学や出勤途中の生徒や運転手などに交通安全を呼びかけました。

また、4月10日、「交通事故ゼロを目指す日」には、船木公設市場前国道において、さつま地区交通安全協会、安全運転管理協議会、さつま警察署等が合同で「交通安全街頭キャンペーン」が実施されました。



船木公設市場前での呼びかけ

交通事故に注意ということで、チューインガムや啓発チラシなどが通行するドライバーに配布され、交通安全を呼びかけました。他にも、町内各事業所や各種団体の方々が、近くの主要道路にて、独自に交通安全運動の呼びかけを行ってくださいました。

少年拳士も交通安全を

ピーアール

4月4日、少林寺拳法鹿児島宮之城支部の拳士及び保護者が山崎支部、川内支部と3支部合同で船木公設市場前広場にて、さつま警察の協力を得て交通安全街頭ピーアール運動を行いました。

この運動も今年で15年目になり、道衣姿の拳士達は、警察署の方に車を誘導してもらおうと「安全運転でお願いします」と大きな声をかけながら、元氣よく飴とチラシを手渡していました。



チラシを配る道衣姿の拳士



代表でリボンを受け取る福満教育長（右）

交通安全鈴付きリボン

贈呈

3月25日、さつま地区交通安全協会とさつま警察署から、小学校新入学生へ「交通安全鈴付きリボン」が贈呈されました。

リボンには、新入学生が交通安全に関心を持ち、また保護者や運転者にも注意を喚起してほしいとの願いが込められています。

とってもフルーティ！ マンゴー収穫祭

4月15日、平成21年産マンゴー収穫祭が福岡政博園（新生地区）で開催されました。

町内では6戸の農家が99aを栽培しており、本年販売予想量は12トンで販売金額36000千円を見込んでいます。

本年産は、秋口の高温の影響から開花が遅れたものの、母の日を中心とした贈答物として評価も高く、高値での販売が期待されています。

出荷は主に、農協を通じて鹿児島・名古屋・東京などの市場へ出荷されるほか、町内の直売所などでも販売されます。



熟したマンゴーを収穫する福岡園主



交通少年団の敬礼

結団式では、盈進小学校校長、さつま警察署長、さつま地区交通安全協会の方々が、激励のことばを述べられ、また交通少年団員の皆さんは、交通少年団三つの誓いを行い、団員としての決意を宣言しました。

活動内容は、毎月20日の「交通安全の日」に宮之城屋地本町交差点にて立哨を行うほか、交通安全週間や交通安全行事に積極的に参加し、交通安全を呼びかけます。

交通少年団は、昭和49年4月に西日本で初めて結成され、長い伝統を誇り、地域の交通安全のために頑張っています。

4月13日、盈進小学校校長室で、平成21年度宮之城交通少年団（盈進小5・6年生20名で構成）の結団式が行われました。

交通少年団結団式

消防団長・副団長の紹介

平成21年4月1日付けで、任期満了に伴います消防団長・副団長の交代がありましたのでお知らせいたします。

はぎ こ ば こうぞう

萩木場光三 団長



昭和48年8月1日入団
副団長などを歴任

すえよし

よしと

末吉 義人 副団長



昭和53年4月10日入団
西部方面隊長などを歴任

団長のあいさつ

この度、さつま町消防団長を拝命いたしました。

責任の重さを痛感すると共に、身の引き締まる思いであります。

昨年における我が町の火災発生件数は、例年と変わらない状況で推移しておりまた大きな台風被害もなく消防団にとりましては比較的穏やかな年でございました。

しかしながら、県内では800件を超える火災が発生し、約30名の方がお亡くなりになっております。

こうした状況を見据え、常日頃から予防消防を訴えているところでありますが、さらに火災予防への啓発を強化しながら、町内から火災が1件でも少なくなるよう努めてまいりたいと思っております。

今後におきましても、地域住民の財産と生命を守るという、消防団の所期の目的を達成すべく消防技術・技能の向上に務め、住民の負託に応えてまいりたいと存じますので、更なるご指導とご教示を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。